

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		越野 泰成	所 属		法文学部 総合社会システム学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.25	1. WebClassなどを使用して例年通り、予習のためのレジュメ配布や復習のためのレポートの提出などを実施して、さらなる単位の実質化を行う。 2. 昨年度の授業アンケートの指摘事項をもとに、授業の改善を心がける。 3. 経済学演習を通し、ゼミ生の履修指導、就職指導を行う。		0.25	1. Web Classを用いて予習のためのレジュメ配布や復習のためのレポートの提出などを例年通り実施して、さらなる単位の実質化を行った。 2. 昨年度の授業アンケートの指摘事項をもとに、教材の改善等を行った。 3. 経済学演習を通し、ゼミ生の履修指導、就職指導を行った。			
研究	0.20	1. 現在進行中の論文の完成させ、論文の投稿・採用を目指す。 2. 科研費応募をはじめ、外部資金獲得に向けた取組を行う。 3. 国際沖縄研究所での共同研究に協力する。		0.20	1. 現在、数本の論文を作成中であり、次年度中には論文の投稿・採用を目指す。 2. 科研費応募を行った。 3. 国際沖縄研究所での共同研究に参加し、研究遂行に協力した。			
社会 貢献	0.15	1. 経済法研究会の会員として研究会に参加し、意見の交換等を通し、地域に貢献する。 2. 政策金融評価業務検討委員会委員長として、会議をまとめ、意見の交換等を通し、地域に貢献する。		0.15	1. 公正取引委員会「沖縄地区における有識者との懇談会」に参加し、意見の交換等を通し、地域に貢献した。 2. 政策金融評価業務検討委員会委員長として、会議をまとめ、意見の交換等を通し、評価書作成に貢献した。			
管理 運営	0.40	1. 大学評価センター長として、評価担当副学長を補佐し、全学的な評価業務を遂行する。 2. 大学評価センター長として、年度計画実行および、第2期法人評価に向けた取組を行う。		0.40	1. 大学評価センター長として、評価担当副学長を補佐し、全学的な評価業務の遂行に努めた。 2. 大学評価センター長として、年度計画実行および、第2期法人評価に向けた取組を行った。			
	0.00			0.00				
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)							
名 前		岩橋 培樹	所 属		法文学部 総合社会システム学科	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.40	担当講義は以下の通り。経済数学(夜間)、労働経済学(昼間・夜間)、経済学演習Ⅰ・Ⅱ、マクロ経済学特論(大学院)、囲碁の世界(共通教育)。体系的で分かりやすい講義に努め、学生が知識を習得するのみならず、学ぶ意欲を高められるような内容に努める。		0.40	初回講義に、毎回の講義のテーマならびにキーワードを記した予定表を配布し、そのカリキュラムに従う形で講義を進めることができた。受講人数、出席率ともに高いもので、一定水準以上の講義を達成できたものと思う。 自己評価:A		
研究	0.40	現在取り組んでいる研究(テーマ:沖縄県の国際貨物ハブ化構想に関する経済分析)を論文として完成させ、専門誌に投稿、掲載されることを目標とする。		0.40	経済産業研究所のディスカッションペーパーとして発表した(「アジアへの輸送玄関 那覇ハブ空港の可能性」RIETI DP)が、専門誌への掲載は次年度へ持越しとなった。 自己評価:B		
社会貢献	0.00			0.00			
管理運営	0.20	二つの委員を担当。そのうち一つは委員長を務める。委員の効率的な運営に尽力する。		0.20	すべての委員会に欠席することなく参加し、委員会の運営に貢献できたものと考えている。 自己評価:A		
	0.00			0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		杉田 勝弘		所 属		法文学部 総合社会システム学科		職 名		准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生 支援	0.30	わかりやすい授業をめざす。ゼミにおいて学生の勉強だけでなく、進路などにもできるだけ支援する。				0.30	わかりやすい授業をした。ゼミでも卒業論文の指導、そして進路にもできるだけ支援をした。				
研究	0.60	査読付き国際ジャーナルに投稿する。				0.60	査読付き国際ジャーナルに論文を2本投稿した。一本はすでにアクセプト済み。				
社会 貢献	0.00					0.00					
管理 運営	0.10	いくつかの委員会に貢献できるよう努力する。				0.10	国際交流委員会等に所属しできるだけだけの貢献をしてきた。				
	0.00					0.00					
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>				1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		瀬口 浩一		所 属		法文学部 総合社会システム学科		職 名		教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生 支援	0.25	教育では、ゼミ活動として「県外大学とのディベート大会」「学内合同ゼミ」「学内外プロジェクトへの学生の参画」といった共同研究や、「卒業論文」での個人研究を通じて、「広い視野から考える力」「分析力」「忍耐力」「協調性」が身につくよう指導にあたる。大学・大学院の講義でも、「広く柔軟に考える大切さ」を伝え、「視野の広さと考える力」が向上するよう指導する。学生支援では、就職活動支援の知識や経験を活かし、就職活動開始の前からインターンシップなどを活用しつつ、支援・指導を行う。全国的に通用する人材育成を日頃のゼミ教育でも意識しており、就職活動期間を通じて、進路の相談、履歴書やエントリーシートの添削、面接指導など、全般的な指導を行っていく。推薦書の作成などにも丁寧に応じたい。				0.25	ゼミ活動(3年生21名、4年生19名)として、9月に「県外大学とのディベート大会」(北海道で開催)、2月に「学内合同ゼミ」(経済学専攻内ゼミと開催)、2月に「IR推進室(琉球大学が地域経済に与える影響)プロジェクトで学生が分析に参画」(3月に大学としてのプレス発表を予定)、そして11月と1月に「卒業論文・中間及び最終報告会」を開催した。就職状況もほぼ全員決定し、企業採用ご担当者から左記のゼミ生の能力が評価されたことも確認できた。大学院生(2名の指導教員)は初年次で研究方針が概ね決まり、分析に入っており、左記の能力も高めることができた。教育と、就職活動支援をなど、左記の学生支援・指導に伴う成果を十分確認でき、目標が実現できたと考えている。				
研究	0.25	「公共部門の効率性に資する研究」を引き続き、行うと共に、法文学部や国際沖縄研究所の研究者と連携した研究プロジェクトに参加し、今後の外部資金獲得を視野に島嶼地域の問題に関する研究に当たる。また、財政分野において外部研究者と連携し、研究会などに出席しながら、外部資金獲得に向けた準備を進める予定である。新たな研究分野に取り組むことも視野に、下地を整えていきたい。				0.20	国際沖縄研究所の研究者と連携した島嶼地域に関わる研究プロジェクトと、学外研究者と連携した公共部門の効率性に関わる研究プロジェクトに参加した。研究資金を得て、島嶼地域の地理的特性に着目した検討を行うなどし、両プロジェクトとも外部資金申請中である(研究分担者として)。				
社会 貢献	0.25	財政や地域・都市経済の専門家として、行政や企業等における各種委員会委員や講演、報道機関からの取材対応などを通じて、研究成果を社会に還元できるように取り組む。地域への貢献活動として、市民への公開授業や高大連携授業も実施し、専門的な視点や知識が養われるよう取り組んでいく。				0.25	行政や企業等の委員会等(10程度)、報道機関からの取材対応(10回程度)などを専門的な助言・発言の機会を通じて、研究や専門的知識を社会に還元する機会にも恵まれた。また、市民への公開授業(2つの講義)、高大連携事業(1つの講義)も実施でき、地域社会との接点を持って、積極的な社会貢献ができたと考えている。				
管理 運営	0.25	全学の各種委員会・ワーキングなどの委員を担当する。新たな学内組織が軌道に乗るよう、様々な検討にも力を入れる。学部の委員会委員も担当し、大学及び学部において重要な時期に貢献できるよう取り組みたい。専攻・領域では、学部委員会と専攻との架け橋となるよう取り組むとともに、大学院新コースが軌道に乗るよう励んでいきたい。				0.30	全学では複数の委員会・ワーキング等(4程度)の委員を担当するとともに、IR推進室(琉球大学が地域経済に与える影響)プロジェクトに関する数量分析を担当した(プレス発表及び報告書作成を3月に終える予定)。学部・専攻では将来の組織に関する委員会に携わるとともに、入試業務等にも取り組み、目標を達成できたと考えている。				
	0.00					0.00					
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		堀 勝彦		所 属		法文学部 総合社会システム学科		職 名		准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生支援	0.40	講義では、板書を中心としながら補足資料としてスライドや映像資料も活用しつつ講義内容と現実社会との関わりについてより実感を持てるよう工夫を行う。またWebclassの効果的な利用についても検討する。ゼミでは、現実社会との関わりを意識ながらも学ぶ経済理論の水準を低めることのないよう工夫したい。また1年次指導教員として初年次から卒業後の自分を意識できるような情報発信を行いたい。				0.70	講義やゼミでは、板書を中心としながらスライドや映像資料も活用して現実社会との関わりを実感を持てるよう工夫を行い、Webclassを通じて自習用に講義資料や演習問題の提供も行った。今後講義内容の改善と問題演習の充実をめたい。また1年次指導教員としては初年次から卒業後の自分を意識できるように、メーリングリストを作成・活用し、参加可能なセミナーやインターンシップなどについての情報発信を行った。				
研究	0.30	代表研究者となっている科研課題をはじめ研究分担者として参画する2つの科研課題や京都大学経済研究所における共同利用・共同研究拠点研究課題を中心に関係する研究会を開催・参加し、活発な意見交換を行いつつ各研究課題の成果につなげていく。				0.10	科研課題や京都大学における共同利用・共同研究拠点研究課題を中心に関係する研究会を参加するとともに、沖縄において小・中規模の研究会を開催した。しかし今年からはじめて担当する事になった複数の講義の準備に多くの時間を割いてしまい、研究課題を十分にすすめることができなかった。				
社会 貢献	0.15	オープンキャンパスでの模擬講義を行う予定である。模擬講義では映像資料も活用するなどして、高校生に対して琉球大学や専攻分野の魅力が伝わるよう工夫をしたい。また機会があれば積極的に市民への公開講座を行うなど地域への還元も行っていく。				0.10	オープンキャンパスでの模擬講義を行うとともに、大学案内での教員メッセージや誌上講義の作成を担当した。模擬講義では映像資料も活用するなどして、高校生に対して専攻分野の魅力が伝わるよう工夫をするとともに、誌上講義では複数の案を作成し、複数の教員や学生から意見を聞き、高校生が少しでも魅力を感じることができる文面となるように務めた。				
管理 運営	0.15	図書委員として紀要の発行・運営に携わる予定である。また購読冊子や紀要の発行形態の見直しなど、限られた予算の下でも学術研究発表の環境を維持・向上できるよう工夫・提案を行いたい。また県外から研究者を集中講義担当の非常勤講師として招聘するための調整役を行う予定である。				0.10	図書委員として紀要の発行・運営に携わり、削減される予算の下で少しでも教育研究環境が維持できるよう、購読冊子の見直しに務めた。紀要の発行形態の見直しなどについては、学部全体の規程の見直しなどもあり時間がかかり、十分にすすめることができなかった。最後に世話人として、米ロチェスター大学から教員を招聘し、集中講義を実施することを通じて学生に貴重な機会を提供できた。				
	0.00					0.00					
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>				1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		星野 高德	所 属		法文学部 総合社会システム学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.50	演習科目では、卒業論文の指導方針を確立し、ゼミ生に卒業論文のテーマを設定してもらおう。講義科目では、経済史を学ぶ意義が理解できるように講義を行う。		0.50	演習科目では、ゼミ生の卒業論文のテーマ設定、論文執筆に関する指導を行い、4年生の卒業論文の執筆をサポートすることができた。講義科目では、可能な限り映像資料等を用いることにより、当時の時代背景を理解できるように工夫した。また、一年次の指導教員として、留学や昼間主へのコース変更に関する質問・相談に対応した。			
研究	0.40	科研費の研究テーマに基づき、各都市の資料収集、論文執筆を進める。		0.40	東京、台北での資料収集を行い、今後の論文執筆、来年度に予定されている研究会発表の準備を行った。			
社会 貢献	0.00			0.00				
管理 運営	0.10	委員長と協力し、委員会委員の職務を遂行する。		0.10	委員長と協力し、休日勤務等も含め、委員会委員の職務を遂行した。			
	0.00			0.00				
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		樋口 一彦	所 属		法文学部 総合社会システム学科	職 名		教授
領域	業務ウエイト比(予定)	平成27年度 年度目標設定		業務ウエイト比(実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・学生支援	0.35	学部専門科目として、「基礎国際法」「展開国際法」「法学基礎演習」「法学演習」、共通教育科目として「憲法概論」、大学院科目として「国際法特論」「国際人権法特論」「国際人道法」を担当する。また、3年次指導教員として、学生の指導を行う。		0.35	学部専門科目として、「基礎国際法」「展開国際法」「法学基礎演習」「法学演習」、共通教育科目として「憲法概論」、大学院科目として「国際法特論」「国際人権法特論」を担当した(「国際人道法」については、受講者なしで不開講)。また、3年次指導教員として、学生の指導を行った。			
研究	0.30	国際人道法研究を継続する。		0.30	国際人道法研究を継続した。			
社会貢献	0.00	教育、研究、および管理運営を行うことにより「社会貢献」を行う。従って、独自の「業務ウエイト」を置かない。		0.00	教育、研究、および管理運営を行うことにより「社会貢献」を行った			
管理運営	0.35	法学専攻主任、学部教育委員会委員、URGCC学士教育プログラム委員、進路支援委員、その他の匿名委員等を担当する。		0.35	法学専攻主任、学部教育委員会委員、URGCC学士教育プログラム委員、進路支援委員、その他の匿名委員等を担当した。			
	0.00			0.00				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>		1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		戸谷 義治		所 属		法文学部 総合社会システム学科		職 名		准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生 支援	0.35	共通教育で担当する「憲法概論」、専門教育で担当する「基礎労働法」「応用労働法」「法学演習」「法学基礎演習」の各講義を実施する。また、法科大学院と合同でハワイ研修を実施する。学生支援については、就職に関する相談に応じるほか、特に大学院進学希望者に対する受験指導を行う。				0.35	年度当初の予定通りに講義を実施した。あわせて、学生の就職相談に応じ、また大学院進学希望者に対する進学指導を行った(指導対象学生中4年次学生(本年度受験者)については全員合格)。				
研究	0.35	既に獲得している科研費を利用して企業倒産と労働関係に関する研究(代表者)及び個別的労働紛争と職場内の集团的ルール設定に関する研究(分担者)を進める。特に前者については日本労働法学会大会のシンポジウムで報告予定のためそれに向けた準備を行う。また、分担者となる予定の日中労働法比較研究についての科研費申請準備を行う。				0.35	年度当初の計画に従って研究を進めた。米国法制や台湾法制の現地調査を行い、学会報告1回(国内)、研究会報告4回(国内)、論文公表4本(国内3, 海外1)であった。また、韓国国立法制研究所の招聘を受けて東アジア～南アジアの研究者との交流を持つことができた。科研費も計画通りに申請した。				
社会 貢献	0.20	初等中等学校教員免許講習講師を務める。また、実務者と合同で研究会やシンポジウムを開催する。その他時宜に応じて社会貢献活動を実施する。				0.20	初等中等教員免許講習の講師を務めた。実務家や本土の研究者とも研究会を開催し、研究成果の地域での普及に努めた。琉大後援財団からの助成を獲得し、シンポジウム1回を開催した。				
管理 運営	0.10	担当の委員の職務を行う。				0.10	担当の委員の職務を行ったほか、本部で就業規則改正関係の委員を務めた。				
	0.00					0.00					
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>				1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。					